

弁護士・弁護士会による 法教育の 取り組みと試み



日本弁護士連合会

各弁護士会の取り組み

◆分野

人権教育
憲法教育
裁判手続教育
消費者教育
職業案内
など

◆方法

模擬裁判
ロールプレイ
法廷傍聴
社会科見学
講師派遣
など

市民のための法教育委員会

◆ 本年6月発足 7月に第一回会合を予定

◆ 任務・目的

- 1 教育方策（法教育）の策定及び実践
- 2 教材の研究・開発
- 3 教育関係者等との情報交換
- 4 その他上記目的の達成に必要な事項

小学生に対する授業例

◆ 筑波大学附属小学校5年生

◆ 「ローラー・ブレードはダメ?!」

ローラー・ブレードが危険なため禁止してはどうか?

◆ グループ・ディスカッション

- 市議員
- 住宅街の住民
- 子ども
- 親たち
- 警察官



授業の進行

- ◆ 事案の説明
- ◆ 知的道具 考える視点の説明
- ◆ グループで討議・意見の集約
- ◆ 意見の発表・討論



中学校での授業

(3時間の授業例)

◆ 福井県私立北陸中学校3年生

◆ テーマ

1時間目 社会生活の中のルール

ルールの必要性・ルールを守るとは？

2時間目 ルールの評価

ルールを評価することの必要性、
良いルールとはどういうものか？

3時間目 ルールの策定

ルールを作ってみよう



ディスカッション設例

あなたは、ある中学校の3年生で、バスケ部のキャプテンです。

さて、大会が近づいたある日、レギュラー選手の1人が、練習中にけがをしてしまいました。大会までに治る見込みはありません。あなたは、レギュラー選手以外の部員の中から、誰か1人を選んで大会に出場させなければなりません。

候補となる選手は、下の5人です。あなたは、もちろん大会でできるだけ良い成績を残したいと思っています。しかし、来年のチーム作りのために、下級生に経験を積ませておくことも考えておいたほうがよいかもしれません。

5人の候補

長谷川	3年生	一日も休まず練習	試合に出たことはない
伊良部	3年生	練習は適当にさぼる	何度も試合に出たことがある
野茂	3年生	何度も試合に出たことがある	手首をねんざ
石井	2年生	来季のレギュラー候補	先週風邪を引き休んだ
松井	1年生	素質は十分	期待の新人

ディスカッションシート

選手名	学年	公式戦経験	実力	現在の調子	練習態度	メモ
長谷川	3年					
野茂	3年					
伊良部	3年					手首を捻挫
石井	2年					病みあがり
松井	2年					

何が問題になっているか	どんな利益や負担が分けられるか	それはどんな人達の間で分けられるか	必要性の点で違いがあるか	能力の点で違いがあるか	適格性の点で違いがあるか	誰を選ぶ?
けがをしたレギュラー選手のかわりに、誰を大会に出すか。	「大会の公式戦に出られる」という利益	バスケット部員（控え選手） [候補は5人]				

授業のポイント



- ◆ 身近な素材を用いる
- ◆ 単に「考えて」というのではなく、
考えるための道具・視点をはっきり明示する
- ◆ ただ一つの正解があるわけではなく、
なぜその結論を出したかということ
みんなにきちんと説明できることの大切さを強調

今後の活動予定

- ◆教材の作成・カリキュラムの策定
- ◆弁護士による実験授業の展開

